

随 意 契 約 詳 細 情 報

業務の名称	宮崎大学(清武)中央機械室中央監視設備伝送端末装置更新業務
業務概要	附属病院中央機械室にある中央監視設備の主装置、伝送端末装置を更新する業務である。
契約担当官等の氏名 並びにその所属する 部局の名称及び住所	事務局
	理事
	迫田 浩一郎
	宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地
契約年月日	令和2年12月18日
契約業者名	扶桑電通株式会社 九州支店
契約業者の住所	福岡県福岡市博多駅前1丁目18番7号 博多電気ビル
契約金額	17,138,000 円(税込み)
予定価格	17,138,000 円(税込み)
随意契約による こととした理由	<p>本学附属病院に設置された中央監視設備の主装置、伝送端末装置は、富士通(株)製で、富士通(株)製品の技術サービスを専門的に扱うパートナー企業である扶桑電通(株)が2007年に施工し完成したものを本業務により更新するものである。</p> <p>対象となる中央監視装置は、特高・高圧受変電設備の機器情報を一元的に管理し制御する主装置と、主装置に情報を伝送する端末装置であるが、設置後13年経過し老朽化により度々システムに異常が発生している。また、装置の各種部品の製造が終了したことに伴い交換部品の調達が困難となっているため、万一障害が発生した場合、システムの監視・制御・停電時の自動停復電操作が不可能となるだけでなく復旧に長い時間を必要とし、附属病院を有する清武団地において膨大な資産の損失と人命に関わる甚大な被害の発生が予見される。</p> <p>本業務の計画に先立ち、扶桑電通(株)以外の専門業者3社に見積もりを依頼するためにヒアリングを実施したところ、対象となる装置を含め、設備全体に元施工業者独自の技術(プログラミング技術)が活かされているため、他社によるプログラミングの変更・更新ではシステム障害が起こる可能性があり、人的及び資産損失の危険性があるため、見積もりできないとの回答を得ており、本学に装置を設置した企業であり、本業務に必要な知識や技能を有する、扶桑電通(株)に更新させることが必要と思慮される。</p> <p>なお、前回、中央監視装置(リモートステーション RS-1)を更新した際も同様の受注形態であった。</p> <p>以上により、文部科学省通知「工事請負契約における随意契約方式の的確な運用について」(昭和59年11月27日付け文教施設部長通知文施監第67号)の別紙「工事請負契約における随意契約のガイドライン」の「I 契約の性質または目的が競争を許さない場合(予算決算及び会計令第百二条の四第三号)」(2)②に該当し、国立大学法人宮崎大学会計規則第36条第3項に該当するため、既設設備設置業者である扶桑電通(株)と適正価格で随意契約を締結するものである。</p>
履行期間(自)	令和2年12月21日
履行期間(至)	令和3年 3月31日
備考	